

2021年9月29日

各 位

株式会社 北都銀行

**環境省利子補給事業「地域 ESG 融資促進利子補給事業」第 1 号案件の実行について  
「北都グリーンアクション」～脱炭素社会の実現に向けて～**

株式会社北都銀行（頭取 伊藤 新）は、「北都グリーンアクション<sup>※1</sup>」に基づく取り組みの一環として、環境省が実施する「地域 ESG 融資促進利子補給事業」<sup>※2</sup>の指定金融機関として採択を受け、ESG<sup>※3</sup>に積極的に取り組む企業やお客さまを支援しております。

この度、同事業の第 1 号案件として、日高建設株式会社 様に対し本制度を活用した融資を実行し、日高建設株式会社 様の脱炭素社会に向けた取り組みの一部をご一緒に進めることができましたので、下記のとおりお知らせいたします。

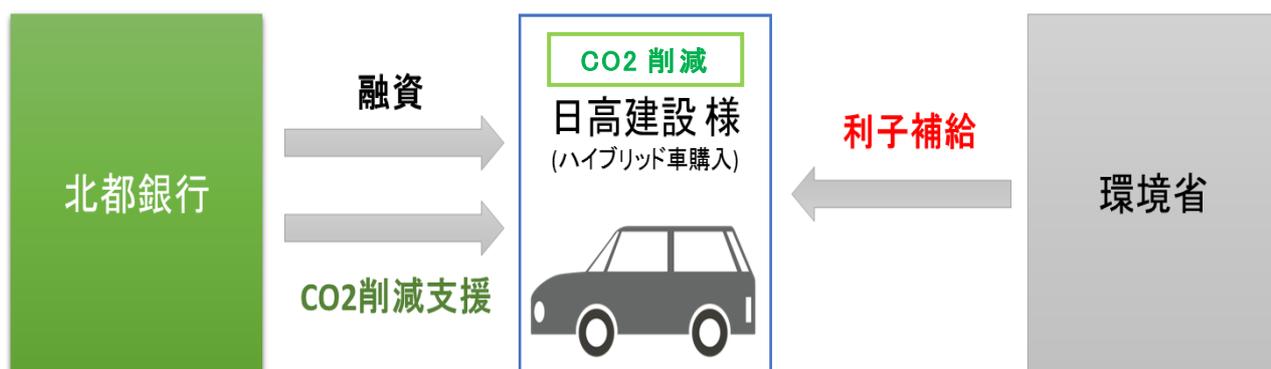
## 記

## 1. 事業概要

企 業 名	日高建設株式会社（本社：秋田県仙北市、代表取締役：日高 英樹）
対 象 事 業	ハイブリッド商用車の購入
事 業 内 容	商用車の追加購入に当たり、二酸化炭素排出量のより少ないハイブリッドかつ低排出ガス認定自動車を購入

## 2. 事業スキーム

- ・本制度に従って弊行の融資をご利用いただいたお客様は、環境省から利子補給を受けることができます。



※「第 2 次秋田県地球温暖化対策推進計画」では、温室効果ガス排出抑制等に関する主な施策の一つとして「次世代自動車等の普及」が掲げられており、ハイブリッド車は CO2 排出抑制に寄与するものとされております。

[ご参考]

※1：北都グリーンアクション

- (1) 地域金融機関として、秋田県全体の脱炭素化に向けた行動連鎖を喚起するための取り組みです。県内の再生可能エネルギー需要を掘り起こし、再エネを軸とした新しい産業創出を目指しております。
- (2) これまで、次の通り第8弾まで具体化しておりますが、本件は、**第4弾**の実践例です。

第1弾：再エネ100宣言 RE Action に参画

第2弾：ほくと・グリーン私募債、ほくと・グリーン私募債(寄付型)の取扱開始

第3弾：風力発電分野における産学金連携に関する協定を締結(秋田大学、三菱商事エナジーソリューションズ、ウェンティ・ジャパン、北都銀行)

**第4弾：環境省「地域 ESG 融資促進利子補給事業」に採択**

第5弾：環境省「令和3年度 ESG 地域金融促進事業」に採択

第6弾：洋上風力発電事業を通じた国内サプライチェーン・産業基盤の新規創出、地域経済の活性化に関する共同検討(三菱商事エナジーソリューションズ、ウェンティ・ジャパン、北都銀行)

第7弾：産学金連携による国際教養大学への寄附講座の開設(国際教養大学、三菱商事エナジーソリューションズ、ウェンティ・ジャパン、北都銀行)

第8弾：「〈ほくと〉SDGs/ESG 経営支援サービス」の開始

※2：制度の概要(詳細については、一般社団法人環境パートナーシップ会議のホームページご参照ください(<https://epc.or.jp>))

制 度 名	地域 ESG 融資促進利子補給事業 (ESG 融資目標設定型)
制 度 内 容	地球温暖化対策のための再生可能エネルギー・省エネルギー設備投資等に対する ESG 融資の利息のうち、最大1% (3年間) を環境省が補給します
所 管 省 庁	環境省 (執行団体：一般社団法人環境パートナーシップ会議)
融 資 額 上 限	10億円 ※1件あたりの上限。利子補給金の交付対象となるものに限る。
利子補給対象	地球温暖化対策のための設備投資に対する融資 (特に CO2 削減効果の高い再エネ・省エネ事業)。 ※原則、温暖化対策の為の設備本体、設備の設置及び維持活動に必要と認められるもの (附帯設備を含む) 等が対象。
留 意 事 項	・中古で購入した再エネ・省エネ設備は利子補給対象外。 ・同一設備投資への、国の他の補助金併用は不可、県や市町村による補助金は併用可 (原資が国からの補助金の場合は併用不可)。

# NEWS RELEASE

※ 3 : ESG

環境：Environment、社会：Social、企業統治：Governance を指しており、地域金融機関においても ESG 要素を考慮した融資について取り組んでおります。

以 上

《本件に関する問い合わせ先》  
営業推進部 地方創生室（担当：磯崎 健）018-837-1701